

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年 2月 1日

事業所名: こどもプラス三木

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定期的に見直しと、現在の利用者の過ごし方に合わせて模様替えを行っている。	いいえ0票	好評をいただいているので、今後も維持につとめたい。
	2 職員の適切な配置	基準及び加配を満たすように配置しているが、送迎等のサービスに人員が足りていない部分がある	いいえ0票	支援以外の業務に手をとられないよう努力を続けていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物の性質上バリアフリーは不可であるが、視覚支援や切り替えを行いやすい教室作りは続けている	いいえ0票、どちらともいえない3票	今後も同様に運営を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新しい掃除の方法や、模様替えにより常に過ごしやすい環境の提供を心掛けている	ON/OFFの場所がわかれていることが良いと思う	好評をいただいているので、今後も同様の取り組みを続けることとする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的ミーティングを実施し、共有とフィードバックを行っている。		継続して取り組む。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者外部評価は利用していない。専門職などからアドバイスを受けている。		必要に応じて評価の利用を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	FC本部の研修を活用している。地域の研修にも参加をしている。		取り組みを継続する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者や関係機関と綿密な連携をとり計画作成にあたっている。		事業所内でこどもの変化に合わせて聞き取りを強化すべきとの意見があったため、取り組んでいく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の取り組みたいことを優先し、集団と個別に支援を提供できるよう職員と会議をしている	いいえ0票	継続する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者やご自身のニーズへ向けた項目設定を行っており、利用者にも理解できるものを目指している		継続して立案する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画の目的を職員と共有し支援にあたって いる。	運動療育を取り入れてほしい	集団では体を動かしているが、個別でも感染症対策を行いながらの運動療育を強化していく予定である。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議だけではなく、日ごろからの会話からも 立案につながるよう連携をとっている。	いいえ0票 イベントやおでかけが減っているので、増や してほしい。	イベントだけではなく、運動や療育にも全体で動ける よう継続して取り組んでいく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな 支援	送迎の提供が不十分であると実感してい る。		感染症対策や気温の変化が激しく、プログラムの 実施が難しい現状が続いている。無理のない範囲 で実施していく予定にしている。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫 の実施	児童からの意見を汲み取りながら、新しい遊 びやしたいことの実現を目指している		
	8	支援開始前における職員間でその日の支 援内容や役割分担についての確認の徹底	ボード等で事務を明示するなど、行き違いが ないように心がけている		継続して運営を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行わ れた支援の振り返りと気付いた点などの情 報の共有化	記録に残している。送迎後の会話で不十分 な場合は、翌日などに持ち越してミーティ ングを行う。		継続して取り組む。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録や業務日報を毎回記録してい る。		継続して取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達 支援計画又は放課後等デイサービス計画 の見直し	対面が難しい場合、電話等を活用して聞き 取りを行っている。		ニーズに合わせた方法をとりながら運営してい く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達管理責任者に加え、現場の指導員も個別支援会議に参加するようにしている。		今後も同様の取り組みを行う。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校との情報共有は行っているが、地域の事業所の数など未だに課題があると実感している。		市町村や他機関との連携を強化する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	場合によっては書面や、卒業後のサポートも行っている。		継続して行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員からの持ちよりや、県からの通知を全体で共有し、会社からのサポートもある。		今後も取り組んでいきたい。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	感染症や人員の問題から実施できていない。	いいえ2票、どちらともいえない4票。	市町村と連携をとりながら実現に向けて取り組みたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方々との交流は行っているが、イベント等への参加や企画は行っていない。	いいえ2票、どちらともいえない1票、わからない5票	地域との関係は良好であるが、更なる交流も検討していきたい。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	新規利用者が増えているため、より一層わかりやすい説明を時間をかけて行うよう取り組んでいる。	いいえ0票、わからない2票。	より丁寧な説明を心掛け運営する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	更新時、必ず対面で説明を行うようにしている。修正があれば、随時受け付けている。	いいえ0票	継続して取り組む。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアトレは行っていないが、相談や他所の紹介などの支援は積極的に行っている。	いいえ2票、わからない3票。	家族としての相談にも取り組んでいるため、継続して行っていきたい。ペアトレに関しては需要に応じて検討する。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用者の支援に重要なこととして、共通理解は徹底して行うようにしている。	支援会議等での積極的な情報共有を行ってくれている。いいえ0票。	継続して共通理解へ取り組んでいく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	積極的に行っている。	毎回、今の困りごとなど相談すると情報共有やアドバイスを頂けている。いいえ0票。	支援を継続していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していないが、保護者の活動への参加を心掛けている。	いいえ2件、どちらともいえない2件、わからない3件。	保護者会が活発なので、ニーズをよく把握し検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	組織図を用意し、説明を行っている。	いいえ0票	大きな苦情はないが、ニーズや情報の共有は随時行うように今後も運営していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	紙面での伝達やUDフォントを使うなど、ユニバーサルに対応するべく運営している。	いいえ0票	デジタル化を進めているが、慣れない人への配慮も最大限に行うこととする。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	随時行っている。	いいえ0票	定期的に会報を発行し、教室の様子や連絡、予定などを周知できている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	カギのある棚への保管や、知り合いなどに情報を漏らさないように研修を行っている。	いいえ0票	SNSを運営している立場からも、慎重に情報を利用することを心掛ける。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアル類は各種揃ってはいるが、保護者への周知は万全ではない。災害時の受け渡しなどについては、書面で間違いのないよう毎年更新している。	いいえ2票、わからない3票。	会報などで周知を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回に研修と、実地研修を行う。	わからない4票、どちらともいえない1票	今後も、多様化する災害に合った訓練を実施していく予定である。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回本部会と、随時オンライン研修を行っている。		今後も継続して行う。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	1名、可能性があるため計画への記載と同意書を頂いている。新規契約時にも、丁寧に説明を行うようにしている。		今後も虐待にならないよう適切な支援と教室運営を行っている。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	提携機関と連携をとり、保護者との情報共有も徹底している。		アレルギーが強い児童に関しては、持ち込みをしてもらうなどの対応を心掛けている。今後も行っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	みえる所に書類を置き、いつでも閲覧できるようにしている。		今後も継続し、重大インシデントの防止に努める。